

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽Ⅰ	学年 Grade	1	単位数 Credits	2	
教科書 Textbook	教育芸術社「高校生の音楽2」			副教材Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives			音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
評価の基準 Assessment Standards			実技70%・ペーパー30%						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	オリエンテーション			英語歌詞の意味を理解する。階名読みし、メロディーを覚える。			
		2	校歌						
		3							
	5	4	校歌			一曲通して歌い、暗譜する。 実技・筆記テストを行う。			
		5							
	6	7	6	プレゼンテーション			最も好きな曲・アーティストについて調べ、発表をおこなう。 一名ずつ発表。 何も知らない人にも興味を持ってもらえるように、わかりやすく、構成に工夫しながらおこなう。		
			8						
9									
7	11	10	写譜 ベートーベン作曲ピアノソナタ「月光」			楽譜の美しい書き方を習得する。			
		12							
2 学期	9	13	ソルフェージュ・リズム基礎			拍子、テンポ表記、様々なリズムや音符の書き方について学ぶ。			
		14							
		15							
		16							
	10	17	17	作曲			リズムの書き方を参考に、8小節の自作曲に挑戦する。 自作曲を実際に自ら演奏、発表する。		
			18	作曲発表					
	11	21	19	Finaleの学習			Finaleの概要・使用法説明。 Finaleを使用し、楽譜の作成や歌詞入力覚える。楽譜を1つの作品として完成させる。		
			20						
22									
23									
12	25	24	写譜 ラヴェル作曲『ピアノ協奏曲 二楽章』			楽譜の美しい書き方を習得する。			
		26							
3 学期	1	27	DVD鑑賞「We are the World」1			世界を一世風靡した飢餓救済プロジェクト。 曲が作られていく過程と、その本来の目的を知る。			
		28	DVD鑑賞「We are the World」2						
		29							
	2	30	30	合唱			英語曲を1曲選曲、合唱や音楽の持つ力について考える。 曲全体の音楽構成を分析、より明確なアプローチしながら全体のステージングを完成する。		
			31						
			32						
	3	34	33				1年間の学習を振り返る。		
			34	まとめ					
			35						

履修者へのメッセージ Message for Students

音楽といっても様々な種類がありますが、高校過程では合唱や鑑賞、楽譜制作ソフトFinaleなどを中心に知識を深めながら、平行してヴァイオリンの授業を行います。いろいろなジャンルの音楽に触れ、自分なりの楽しみ方を見つけましょう。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽Ⅰ	学年 Grade	1	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	教育出版「Music View 1」			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。					
評価の基準 Assessment Standards			実技70%・ペーパー30%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	ヴァイオリンの基礎知識			扱い方、姿勢、楽器の持ち方、弓の持ち方を覚える。		
		2						
		3						
	5	4	A Major Scale			技術的基礎となるイ長調の音階を学習する。		
5								
6	6	6						
		7	きらきら星			きらきら星の練習。		
		8				いろいろなリズムのポウイングを学習する。		
7	7	9						
		10						
		11	きらきら星			ポウイングを暗譜し、曲を演奏する楽しさを感じ取る。		
2 学期	9	12	アレグロ			アレグロの練習。		
		13				スタッカートとレガートを学習する。		
		14						
		15						
	10	16	ロングロングアゴー			D線特有の深みのある音色を感じ取る。		
		17						
		18						
		19						
	11	20	楽しい朝			D Majorの学習。		
		21				響きや指のポジションの違いを学習する。		
		22						
		23						
12	24	楽しい朝			響きや指のポジションの違いを学習する。			
	25							
	26							
	27							
3 学期	1	28	Amazing Grace			スラーノ学習、移弦と共に滑らかな演奏を学習する。		
		29						
		30	Jupiter			E-Flat Majorの学習。		
	2	31				響きや指のポジションの違いを学習する。		
		32						
		33						
	3	34	まとめ			1年間の学習を振り返る。		
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

ほとんどの皆さんが、ヴァイオリンの音色を聴いた事はあっても、自分で手に取り、音を奏でるという経験は初めての事でしょう。ヴァイオリンは、他の楽器とは違い、自分自身で音程をとり、美しい音色を奏でなければなりません。始めのうちは、それが難しいと感じるかもしれませんが、努力をすればたったの一年で「きらきら星」をはじめ、様々な曲を演奏する事が出来るようになります。ヴァイオリンを授業で学ぶという事は他校ではなかなか出来ない貴重な経験です。